

平成

バブル経済の崩壊やリーマンショックなど、経済の長期低迷といわれる平成の時代。現在の役場庁舎や保健福祉総合センター（ユウネス）、鉢形城歴史館等の町の施設が完成。町の人口は3万8千人を越えた平成12年ごろをピークに、現在では約3万2千人と約6千人減少しています。

産業面では平成18年には彩の国資源循環工場がグランドオープン、平成25年にはホンダ寄居工場が本格稼働するなど、大きく発展しました。



よりの夏まつり



鉢形城跡



昭和60年ごろの寄居町



Honda完成車工場



昭和60年 風布川・日本水が全国名水百選に認定



昭和61年 新寄居橋開通

2005-	1995-	1985-	昭和61年
平成25年 (2013)	平成11年 (1999)	平成2年 (1990)	新寄居橋開通
平成20年 (2008)	平成9年 (1997)	平成3年 (1991)	寄居中学校と用土中学校を統合し、新寄居中学校開校
平成18年 (2006)	平成7年 (1995)	平成2年 (1990)	町制施行100周年記念事業実施
平成17年 (2005)	平成6年 (1994)	平成2年 (1990)	総合体育館・アタゴ記念館完成
平成16年 (2004)	町立図書館開館	平成3年 (1991)	国道254号金勝山トンネル開通
彩の国資源循環工場「三ヶ山緑地公園」開園	さいたま川の博物館開館	日本の里風布館開館	日本の里風布館開館
一般国道140号皆野寄居バイパス全線開通	鉢形城歴史館開館・鉢形城公園開園	城南中学校が鉢形城跡内から移転	全国水環境保全市町村シンポジウム開催
彩の国資源循環工場グランドオープン	鉢形城跡が「日本100名城」に選定	町全域が国土庁から「水の郷」に認定	役場新庁舎完成
寄居高校閉校、寄居城北高校開校	日本水の森が林野庁から「水源の森百選」に認定	保健福祉総合センター（ユウネス）完成	
農産物加工施設完成	さいたま川の博物館開館		
ホンダ寄居工場（現完成車工場）稼働開始	町立図書館開館		
天皇陛下（当時皇太子殿下）を迎えて	鉢形城歴史館開館・鉢形城公園開園		
全国育樹祭お手入れ行事開催	彩の国資源循環工場「三ヶ山緑地公園」開園		

昭和

昭和30年（1955年）1町4カ村が合併し、人口は約2万7千人となり、現在の寄居町が誕生しました。昭和30年代、日本全体が高度経済成長の時代に入り、国民生活は大きく変化しました。寄居町でも大きな変動の中で、水道・道路・学校などの生活基盤の整備が行われました。昭和50年代に入ると関越自動車道（東松山～前橋）や玉淀大橋が開通するなど、ライフラインの整備がさらに進み、交通の要衝として着実に発展を遂げ、昭和57年に人口は3万人を超えました。



第1回合併記念駅伝競走



昭和40年代 寄居駅南口

写真：堀口寿雄



建設中の新正喜橋



昭和58年 寄居橋上駅舎完成



昭和56年 中央公民館完成



昭和40年代 みかん祭り

1975-	1965-	1955-
昭和58年 (1983)	昭和42年 (1967)	昭和30年 (1955)
寄居橋上駅舎完成	第22回国民体育大会（卓球）開催	寄居町、折原村、用土村、鉢形村、男衾村が合併し、新寄居町が誕生
昭和60年 (1985)	昭和45年 (1970)	第1回合併記念駅伝競走開催
風布川・日本水が環境庁から「全国名水百選」に認定	桜沢小学校新校舎完成・移転	円良田湖（ダム）が完成
	第1回産業祭開催	新正喜橋開通
	農免道路（鉢形・男衾）開通	折原中学校と鉢形中学校を統合し、城南中学校開校
	寄居小学校新校舎完成	金尾・鉢形で全国植樹祭開催
	町史編さん事業開始	埼玉県立寄居高等学校開校
	関越自動車道（東松山～前橋）開通	玉淀ダム完成
	国道140号、254号玉淀バイパス、玉淀大橋開通	
	中央公民館完成	
	総合社会福祉センター「かわせみ荘」完成	
	町民憲章制定	
	寄居橋上駅舎完成	